

● 2017年度 活動計算書 (2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位:円)

科目	金額	金額	金額
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	40,000		
賛助会員受取会費	0	40,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	47,196,189	47,196,189	
3. 受取助成金等			
受取助成金	8,703,870	8,703,870	
4. 事業収益			
教育支援事業収益	5,668,433		
講演活動事業収益	1,496,984	7,165,417	
5. その他収益			
受取利息、他	95,918	95,918	
経常収益計			63,201,394
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	20,695,561		
法定福利費	2,871,576		
計	23,567,137		
(2) その他経費			
旅費交通費	6,713,311		
賃借料	559,862		
印刷製本費	191,539		
消耗品・備品費	160,865		
雑費他	5,120,894		
事業費計	12,746,471	36,313,608	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	9,655,320		
法定福利費	1,325,751		
計	10,981,071		
(2) その他経費			
旅費交通費	3,653,096		
賃借料	894,940		
消耗品・備品費	558,889		
通信費	512,160		
雑費他	9,250,067		
管理費計	14,869,152	25,850,223	
経常費用計			62,163,831
当期経常増減額			1,037,563
III 経常外収益			
-		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
-		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			1,037,563
法人税・住民税及び事業税			70,044
当期正味財産増減額			967,519
前期繰越正味財産額			45,252,055
指定正味財産増減額			-15,000,000
一般正味財産増減額			0
次期繰越正味財産額			31,219,574

昨年度より13,063,882円増収しています。個人寄付者は昨年度より増えて402名となりました。また、個人の資産家の方や法人からの寄付も増えて10万円以上の大口の寄付21,921,892万円(全体寄付収入の46%)となっています。大阪マラソンを通じたご寄付も頂戴し、多くの方から応援をいただいた1年でした。

居場所事業運営/就労支援事業実施に、トヨタ財団様、ウォーター・ドラゴン財団様、ドコモコミュニケーションファンド様、熊西地域振興財団様、長谷福社会様、Panasonicサポートファンド様にご助成をいただきました。

昨年度より1,272,027円減収しています。引き続き、私立の通信制高校ではなく、経済的に困難な状況下にある生徒の多い公立の定時制高校でのプログラム実施を重視したためです。

事業費の人件費は昨年度より3,985,091円増額しています。クレッシェンドを担当する正職員が1名、新しい事業を担当する職員が1名加わったために事業費の人件費が増えています。新事業を進め、既存事業を基盤強化するための一手を打つことができました。

事業費の交通費は昨年度より2,540,781円増額しています。例年の札幌でのクレッシェンドの実施に加えて、岡山の定時制高校でもクレッシェンドを実施したため交通費が上がっています。また2017年1月からスタートしたいごちかふえを週1~2回、比較的遠方の高校で実施したために交通費が上がっています。

管理部門の人件費は昨年度より3,242,115円増額しています。広報・ファンドレイジング部門の正職員が1名増加し、昨年度よりパートから正職員に変わった経営管理部の正職員が1名いたため、管理部門の人件費が増えています。

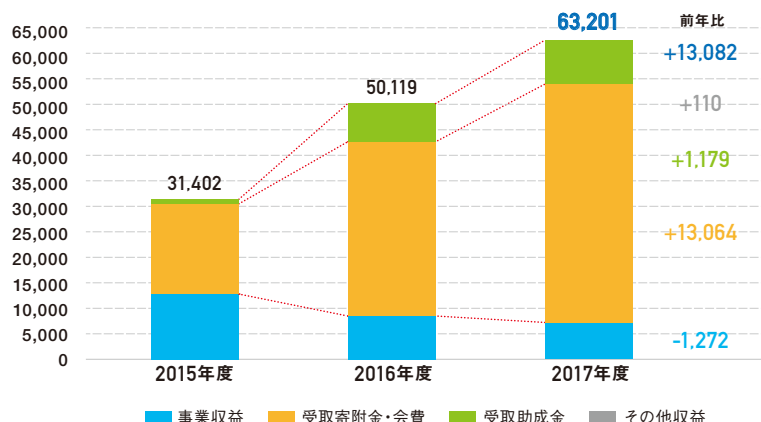
管理部門の雑費は昨年度より4,887,257円増額しています。PanasonicNPOサポートファンド様のご助成を原資に、ソーシャルマネジメント合同会社様による経営コンサルに入ってもらい組織基盤強化を行ったためです。また社内合宿や価値規範策定ワークショップを行うなど、経営強化に投資しました。また、経理部門に関してはM&Tコンサルティング様に委託にて連携しながら運営し、より正確な経理業務を実施できるような体制づくりを行いました。

(故)福武純子様より頂戴したご寄付のもと、2016-2018年度の3年間に渡って15,000,000円ずつ寄付を充ててほしいというご意向に基づいて今年度もご指定の額を指定正味財産から寄付として受け取らせていただきました。

指定正味財産としてワールドチャレンジ募金への寄付もいただいている他、次年度に向けた一手のために次期に繰越をしています。次年度は、2017年度に始まった新事業「いきるシゴトをつくる事業部」をさらに伸ばし、新しい構想である「いきる暮らしをつくる事業部(仮)」のための取り組みを始めていきます。

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

● 経常収入 3期比較 (単位:千円)



この活動計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、認定特定非営利活動法人D×Pの収支を正しく示していることを認めます。

監事 毛受芳高(一般社団法人アスバシ)
 理事 塩田陵(ファイナンスアナリスト)
 経営管理部 森下裕子
 経理代行 株式会社M&Tコンサルティング